

宮崎県総合農業試験場 3階

一般社団法人

食の安全分析センター

「宮崎産」安全に
残留農薬分析で貢献する

食の安全分析センターでは、宮崎県総合農業試験場が開発した優れた残留農薬・機能性成分分析技術を活用して、県内農産物の「安全性」「機能性」の見える化を行っています。

特徴

・・・当センターには**3つの強み**があります！

早い！

最短**翌日**報告!!

高カバー！

ホウレンソウ
県内主要な産地使用農薬成分
のうち**80%**分析可能!!

信頼！

JASaff[※]より
ISO/IEC17025を認定!!
(試験所の能力に関する国際規格)



JASaff

Japan Accreditation Service
for agriculture, forestry and fisheries

JASaff LB_21_01-Testing

ISO/IEC17025:2017 認定範囲
農産物(ホウレンソウ)のイミダクロプリド
超臨界流体二酸化炭素による分離法を用いた一斉分析法

※ JASaff・・・(独)農林水産消費安全技術センター認定センター

代表理事挨拶



代表理事
水光 正仁

宮崎大学次世代研究者支援室長
前 宮崎大学副学長

食の安全分析センターは平成27年に
スタートし、今年で7年目になります。
残留農薬分析といえば、マイナスな
イメージが浮かぶかもしれませんが、
しかし、当センターの強みである
「結果の最短翌日報告」を活かせば、
当センターに収穫前の農産物と
持ち込んで、残留農薬がないことを
確認して収穫、販売するといふ
リスク管理ができます。ポジティブに
残留農薬分析してみませんか？

技術の活用例・・・残留農薬迅速分析技術

一般的に残留農薬分析や、機能性成分分析は作業工程が煩雑なため、結果を出すのに時間がかかります。そこで、当センターは総合農業試験場が開発した短い分析時間、かつ十分な精度が確保された分析法を活用しています。それにより、分析結果の**翌日回答**を実現しています。



切断



粉碎



抽出



測定



翌日
結果報告

依頼方法・・・簡単 3 ステップ !!



電話

まずは、電話でお問い合わせ下さい。
分析日程の調整等をご提案させていただきます。



依頼書記入

「残留農薬分析依頼書」に必要事項をご記入いただき、
FAXまたはメール等でお申し込み下さい。



検体送付

検体を分析日前日の17:00までに送付して下さい。
送付方法は、運送、持ち込みどちらでも可です。

詳しくは食の安全分析センターのホームページをご覧ください。

※1 分析メニュー

残留農薬検査

約400成分一斉分析

※2 県民価格：35,000円 (税込)

通常価格：55,000円 (税込)

機能性成分検査

ルテイン・β-カロテン
β-クリプトキサンチン
16,500円 (税込)

※1 価格は予告なく変更する場合があります。

※2 依頼者が宮崎県在住、農産物が宮崎県内産の両方を満たす場合に限りです。



アドバイザー
馬場 健史
(九州大学教授)



技術課長
酒井 美穂
(大阪大学大学院工学博士)
宮崎県から派遣

一般社団法人

食の安全分析センター

☎ (0985)45-0328 FAXも同番号

営業時間 平日 8:30~17:00

〒880-0212 宮崎県宮崎市佐土原町下那珂5805
宮崎県総合農業試験場管理棟 3階

✉ info@cfsa.or.jp

https://cfsa.or.jp/

食の安全分析センター



佐土原で
やっちよるよ!

